

## 緊急アンケート調査

## 東日本大震災による福島県内の被害の状況

— このたびの大震災により被災された皆様に対し心よりお見舞い申し上げます。  
一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。 —

平成23年3月11日に発生したマグニチュード9.0という未曾有の大地震は、福島県をはじめ宮城、岩手の両県のほか太平洋沿岸の広い範囲に大災害をもたらした。

特に本県は地震、津波による人命、家屋などの財産の喪失に加え、今なお終息の道筋がみえない東京電力の原子力発電所事故もあり、住みなれた土地を離れ、先祖伝来の田畑や家畜を手放し県内外に8万人を超える人々が避難生活を送っている。

このような中、本調査は、福島県内各地の主要な企業60社に依頼し、37社からの回答を集計・分類して県内企業の大震災の被害状況をまとめたものである。

復旧作業でご多忙の中、アンケートにご協力いただきました企業の皆様には誌面をもって御礼申し上げます。

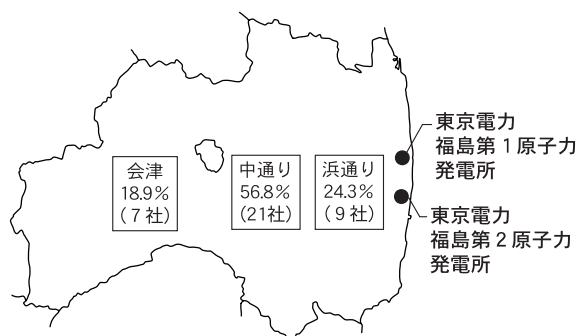
## 1. アンケート方法とアンケート項目

- (1) 発 送 日：平成23年4月8日
- (2) 回答締切日：平成23年4月19日
- (3) 回 答 率：61.7%
- (4) アンケート質問項目
  - ① 大震災の被害状況
  - ② 被害の金額（地震・津波・原発事故による逸失利益・風評被害）
  - ③ 復旧状況と稼働状況
  - ④ 大震災を受けて実施予定の方策、施策
  - ⑤ 大震災直後に困ったこと
  - ⑥ 今一番もとめられること

## 2. 回答企業の地域別割合

回答企業の地域別割合は、太平洋側地域の「浜通り」24.3%、新幹線沿い地域の「中通り」56.8%、西部地域の「会津」18.9%である（図表1）。

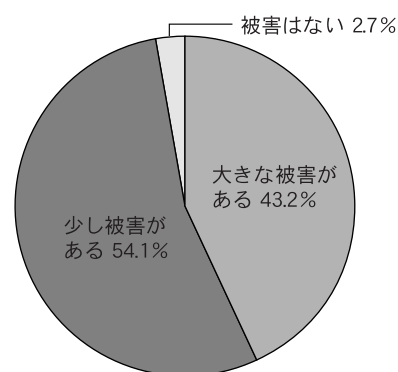
（図表1）回答企業の地域別割合



## 3. 被害の認識

回答企業37社による大震災の直接的な被害は「大きな被害がある」43.2%、「少し被害がある」54.1%、「被害はない」2.7%であった（図表2）。

（図表2）被害の認識



## 4. 被害の原因と被害金額

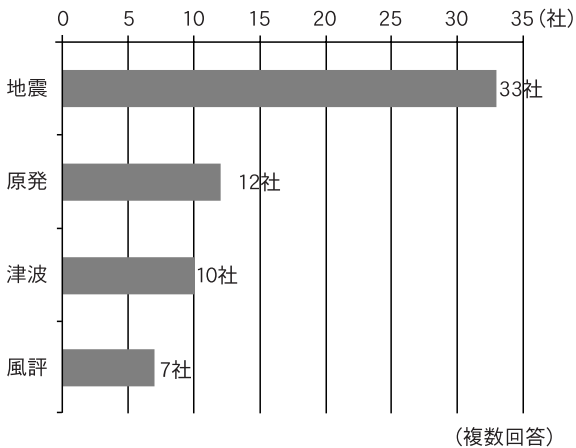
被害の原因と被害の金額については、地震・津波に加え、今後増加する見通しの原発事故や風評被害から、現状では被害原因や被害金額を区分算定できないとする企業も多かった。このような中、被害の原因と金額をお寄せ頂いた分について分類・集計した結果は次のようになった。

(1) 被害の原因

被害の原因（複数回答）は、地震によるもの33社、原発12社、津波10社、風評7社であった。

企業は地震による直接的な被害に次いで、原発事故による被害を強く認識（19社＝原発12社＋風評7社）している結果となった（図表3）。

（図表3）被害の原因



(2) 被害金額

被害金額回答企業数26社の被害総額は約70億円、1社当たり平均被害額は約2億7千万円になっている。

被害の原因別（複数回答）でみると、1社当たりの地震による被害額は2億6千2百万円、津波による被害額は6千4百万円になっている。原発事故による被害額は6千4百万円、風評による被害額は3千3百万円に達している（図表4）。

（図表4）被害金額（複数回答）

被害の原因	被害があったと回答した企業数	被害金額を回答した企業数(A)	被害金額を回答した企業の損害額(B)	1社平均(B)/(A)
地震による被害	33社	24社	6,277百万円	262百万円
原発事故による被害	12社	5社	322百万円	64百万円
津波による被害	10社	5社	322百万円	64百万円
風評による被害	7社	2社	65百万円	33百万円

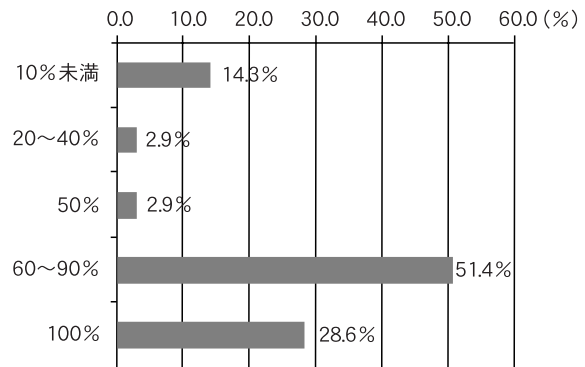
未だに終息しない原発事故による影響がどこまで広がるかわからないことから大震災の被害総額は測り知れない。

5. 復旧状況と稼働状況

(1) 復旧状況

回答企業35社の復旧状況は、100%復旧した企業が28.6%と約3割である。一方、10%未満の企業は14.3%となり、50%以下の復旧の企業割合は20.1%と2割を超えている（図表5）。

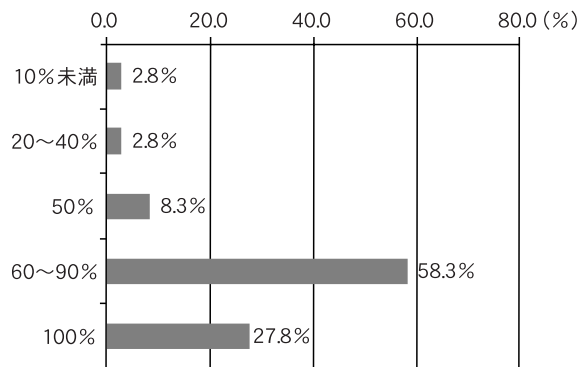
（図表5）復旧状況（35社）



(2) 稼働状況

回答企業36社の稼働状況は、100%稼働した企業が27.8%と約3割である。一方、10%未満の企業は2.8%となり、50%以下の稼働の企業割合は13.9%と1割を超えている（図表6）。

（図表6）稼働状況（36社）



6. 本県経済力の全国の中での位置

内閣府は大震災後の4月26日、都道府県別の1人当たり県民所得を発表した。

福島県の1人当たり県民所得は全国順位で17位、東北6県で第1位となっている。県土の面積は全国第3位、人口は200万人を超え全国第18位である（図表7）。

(図表7) 平成20年度1人当たり県民所得の順位

順位	都道府県名	所得 (単位:千円)	順位	都道府県名	所得 (単位:千円)
1	東京	4,155	25	岐阜	2,658
2	愛知	3,234	26	福岡	2,644
3	静岡	3,215	27	新潟	2,618
4	神奈川	3,198	28	香川	2,578
5	大阪	3,004	29	大分	2,562
6	滋賀	2,984	30	和歌山	2,546
7	千葉	2,976	31	奈良	2,526
8	富山	2,949	32	宮城	2,473
9	茨城	2,943	33	佐賀	2,455
10	埼玉	2,933	34	北海道	2,389
11	京都	2,924	35	青森	2,369
12	栃木	2,917	36	山形	2,327
13	山口	2,843	37	鳥取	2,304
14	広島	2,834	38	秋田	2,297
15	三重	2,829	39	愛媛	2,285
16	石川	2,818	40	岩手	2,267
17	福島	2,743	41	熊本	2,265
18	兵庫	2,740	42	鹿児島	2,253
19	山梨	2,729	43	島根	2,241
20	福井	2,724	44	長崎	2,157
21	長野	2,717	45	宮崎	2,130
22	群馬	2,693	46	高知	2,046
23	徳島	2,685	47	沖縄	2,039
24	岡山	2,662		全国平均	2,657

※県民所得は、県民雇用者報酬、財産所得、企業所得を合計したものの。1人当たり県民所得は、県別の県民所得を各県の総人口（総務省統計局：平成21年10月1日現在人口推計）で除したものである。1人当たりの県民所得は、算式に企業所得も入っているように都道府県全体の経済水準を示している。

## 7. さいごに

福島県は農林水産業のイメージが強い。しかし、本県は前述の1人当たりの県民所得をみても分かるように首都圏向け食料生産などの1次産業、日本の強みの工業製品出荷などの2次産業の集積、観光立国としてのサービス業の3次産業がバランスよく整っている地域である。原発事故により経済活動ばかりでなく、学校の校庭や公園の利用制限など子どもたちの教育現場まで深刻な影響を受けている。

アンケート結果からも地震、津波の災害復興に加え、県内全地域で原発事故の早期解決を求めている。

人類の英知を集めて原子力の平和利用のため造った原発ならば、改めて世界の英知を集め、一刻も早い終息を望むものである。

(担当：白石)

業種	化学
被害についてお尋ねします	3月11日の地震では建屋倒壊無し、軽症2名のみ、全プラント緊急停止した。但し4月11日以降余震あり予断を許さない。
被害の金額はどうか	原発の問題、余震や風評被害は現時点でまったく解決しておらず影響額算出は困難。
復旧状況と稼働状況は	震災後復旧作業を進めてきたが、4月11日以降大きな余震が続けて発生しており、進捗を報告することは困難。
大震災を受けて、現状「貴社で実施予定の方策や施策」についてお尋ねします	<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員、関係者の安全確保。</li> <li>事業所全設備の安全点検、防災対応再確認。</li> <li>地域社会との連携、助け合い活動の実施。</li> <li>保安防災リスク対応計画のレベルアップ。</li> <li>一層の省エネルギー、節電対策強化。</li> <li>地域復興のための早期復旧。</li> <li>被災地域への支援活動。</li> </ul>
大震災の直後にはどうだったか	<ul style="list-style-type: none"> <li>原発問題風評による混乱。</li> <li>ガソリン不足。</li> <li>港湾設備の津波被害。</li> </ul>
今一番求められるのは何か	<ul style="list-style-type: none"> <li>原発問題の早期解決。</li> <li>ライフライン、インフラ設備の早期復旧。</li> <li>被災地域の状況に対応した柔軟な政策対応。</li> </ul>

業種	鋳鋼品（素材）製造業	化 学	絹織物製造	電設資材、住設建材卸売
被害についてお尋ねします	3ライン中1ラインの復旧に2ヶ月を要し、顧客に迷惑を掛けると共に納期的での失注が発生、天災とはいえ顧客信頼度合の低下。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務所が使用不能。</li> <li>・設備の補修が必要。</li> </ul>	設備の破損、カベの亀裂、空調機の配管の破損等色々ある。	原発事故の長期化によって浜通り地区の販売実績は大幅なダウンを余儀なくされている。原町の2拠点が閉鎖中。
被害の金額はどの位でしょうか	建屋設備復旧費用より、ライン復旧工程が読めない期間中、素材納入日が不明又は顧客納期と大きく乖離することで自所のみならず取引先での失注が生じている。	地震による被害額は現時点では不明であるが、億単位と推測。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備の被害がある。米国と欧州向絹織物の輸出ストップがいつまで続くか分からない。</li> <li>・原発の問題は被害額など予測できない。</li> </ul>	地震：建物の損壊。 津波：石巻(営)ほぼ全壊。 原発：相双地区の得意先の喪失。 風評：運送便が当地区への配達をいやがる。
復旧状況と稼働状況はどの位でしょうか	操業に支障をきたさない復旧工事が有ることと、1ライン停止による生産量は70%程度となる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務所はプレハブ（仮事務所）を手配中。</li> <li>・工場設備も補修中であるが、稼働は確保。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復旧状況は90%。</li> <li>・従業員が避難して生産できない。</li> <li>・4月中80%で行う。</li> </ul>	津波および原発からの復旧は全くメドが立っていない。
大震災を受けて、現状「貴社で実施予定の方策や施策」についてお尋ねします	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被災ラインの早期立ち上げ。</li> <li>・受注済品の納期解消のため被災ライン品を他ラインへ移行生産と付加工数を使用。</li> <li>・振り替え休日と月工数の増加。</li> <li>・復興向け火力発電所用素材は優先的に生産と受注を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無事故での操業再開に向けて、十分な危険予知とシンプルな指揮命令を実践する。</li> <li>・原料・材料の調達には、国内で難しい場合、海外よりの調達も検討。</li> <li>・計画停電に対して、十分情報を得る。</li> </ul>	福島県のハイテクプラザにて当社製品の放射線の測定による安全性の確認と社員全員のスクリーニングによる人体の安全性の確認。	リスク分散のため、更なる営業エリアの拡大。
大震災の直後に困ったことは何か	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の入手困難となり予測がしづらい。</li> <li>・原発事故に関する政府広報が後手に廻っていること。</li> <li>・工場用特高電力の受給制限等。</li> </ul>	原発に関する情報が少なかったこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報量のなさ（県、国より）。</li> <li>・風評被害による輸出品の出荷停止。</li> <li>・社員が避難して生産が困難になった。</li> </ul>	食料、上下水道の故障、ガソリン不足。
今一番求められるのは何でしょうか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原発に関する正確な情報と一貫した対策、施策の広報と実行。</li> <li>・政府による復興ビジョンの早期発表。</li> </ul>	計画停電の実施により操業が継続できないなどの事態にならない様、要望します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国よりの原発に対しての現況の説明。</li> <li>・1日も早い中小企業への公的資金の貸出。</li> <li>・風評被害の払拭。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何が何でも原発事故によって放出されている放射線の封じ込め。</li> <li>・常磐線の復旧（常磐線特急、いわき以北の開通など）。</li> </ul>

業種	ホームセンター	横編ニット製造販売	製造業（一般機械）	印刷業
被害についてお尋ねします	天井落下等による建物損傷があり営業休止店舗もあるが順次復旧、又避難退避区域に2店舗あり営業休止。	震災により復興関連業種は短期的には恩恵を受けるかと思われませんがファッション衣料業界では消費の停滞する事が心配される。	地震による建物、機械の被害、休業による損失。	仕入先の被災及び交通手段の途絶により、原材料の入手や製品の搬出が非常に困難となり、売上が大幅に減少している。
被害の金額はどの位でしょうか	現段階では合理的な算定が困難であることから影響等については未定とさせていただきます。	地震による被害は軽微なのですが原発による今後の影響がどれ位に成るか計り知れないのが不安です。		<ul style="list-style-type: none"> <li>短期的には紙卸商の地震被害による原材料の不足。</li> <li>中長期的には紙の基幹メーカーの津波被害甚大で、生産再開の目途が立たないため、紙不足が長期化する懸念がある。</li> </ul>
復旧状況と稼働状況はどの位でしょうか	応急処置を施し営業再開しているが本格的な復旧工事は今後、順次行う。	地震による設備機械等の被害は殆んど無かったので2日後には通常通り生産を行った。	建物の復旧は5月までかかるが、エリアの変更などにより稼働を行っている。	製造設備はほぼ100%復旧しているが、原材料不足により、顧客の発注に十分に出来ない状況が続いている。また発注も減少している（折込チラシ等）。
大震災を受けて、現状「貴社で実施予定の方策や施策」についてお尋ねします	営業休止店舗を除いて事業計画は推進していくが中長期事業計画は見直しを図る予定。	震災を契機に工場内のレイアウトを変更し行動し易い環境にする事と社員の危機意識を改めて持ってもらおう事。		<ul style="list-style-type: none"> <li>用紙類の調達ルートの新規開拓。</li> <li>外注先等の見直し。</li> <li>工場の操業度に合わせ、稼働人員の調整。</li> </ul>
大震災の直後に困ったことは何だったのでしょうか	商品を調達するための物流。	水道水とガソリンそして特にトラック便が不通に成った事が一番困りました。	ガソリン不足。従業員の出勤と復旧のため依頼した業者も動けないとの事。	ガソリン等の燃料不足により、配送、営業活動、通勤に支障があった。
今一番求められるのは何でしょうか	原発事故の早期解決。	原発の問題を早期に永久的に解決をして安心をして生活が出来、福島県産のあらゆる製品を消費者の皆様に信頼をして購入して頂ける様にしてほしい。	放射能の影響が計り知れない。検査して納品は国内では可能だが、海外は今後、受注減も懸念される。対応策が自社では限界もあり、業績悪化含め先行きが不安。	<ul style="list-style-type: none"> <li>原発事故の早期終結。</li> <li>風評被害の払拭。地域の経済活動に及ぼす影響が大きい。</li> </ul>

業種	産業用ロボット制作	輸送用機械器具製造業	石油、建材卸小売業	精 密
被害についてお尋ねします	3/11の地震で工場事務棟2Fの設計室ソフト開発室のガラスブロックが崩落、天井及び埋込みエアコンが落下。工作機械の芯ずれも発生。	工場建屋、設備、機械に大きな被害があった。	事務所、倉庫の損壊、販売施設の看板、塀等の損傷。	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料、仕掛、組立中の物の落下による不良。</li> <li>加工設備の被害は少ないが建屋の壁の亀裂、水道管の破裂、窓ガラスの破損等。</li> </ul>
被害の金額はどのくらいか	外壁、天井、エアコン、照明の補修、工作機械の補修を予定しているが、まだ見積もりも出てこなく建築材の不足で修復時期の予定立たず。	砂処理設備の崩落による更新、溶解炉のコイル焼損による交換、その他の設備・機械の点検などにより1ヶ月操業停止。	建物の損害。また、原発近隣の販売先への逸失利益。	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上減→原発による出勤率低下、物流の停滞。</li> <li>不良金額→地震による落下</li> <li>修繕金額→建屋の修繕等は、未修繕(業者の多忙)。</li> </ul>
復旧状況と稼働状況はどのくらいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>復旧状況はとりあえず一部を残し機械のメンテは終了。</li> <li>工場は稼働したが大きな余震が頻繁に起こりそのたびに機械のレベル出しに追われている。</li> <li>作業効率悪く工作機械メーカーのいわき市へ修理依頼も拒否された。</li> </ul>	親会社、グループ企業より、延べ1,000人以上の人的応援を受け1ヶ月で復旧し、生産再開した。	稼働はしているものの、仕入先から十分な資材が入っていないため、通常営業に戻ったわけではありません。	復旧は、震災後2日間で完了。稼働は、原発の問題があったが、1週間後よりほぼ通常に戻った。
大震災を受けて、現状「貴社で実施予定の方策や施策」についてお尋ねします	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の大震災は今後の日本経済にGDPの低下や債券、株、円、のトリプル安が懸念される大惨事であった。</li> <li>今後受注量の低下が予想される。その為他社に真似の出来ないハイテクノロジーな案件をメインに営業活動を展開する予定である。</li> </ul>	復旧したばかりであり、今後今回の対応について反省し、問題点を明確にし対策をしていく。	今後、原発問題も含めた震災の影響で、福島県内の景気は、長期的に停滞することが予想されます。さらに一段と低コスト体質にすることが急務であると考えています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>余震対策→製品等の落下防止。</li> <li>放射能対策→放射線量の測定。材料、製品を外気にさらさない様に屋内保管。</li> </ul>
大震災の直後に困ったことは何か	大地震の後大きな余震が一月以上続いている。タッチパネルやリチウムイオン電池の製造装置の製作には揺れが困る、精度が出なくなる。	燃料(ガソリン、軽油)不足。	原発事故による放射能漏れの情報等、正確な状況が全く得られなかったこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>原発の放射能による社員の出勤率の低下。</li> <li>物流の停滞。</li> <li>ガソリン不足。</li> </ul>
今一番求められるのは何でしょうか	FUKUSHIMAは世界中に原発事故で有名になった。福島県で製作した装置はその為海外で拒否反応がでている。当社も独ドレスデン向け太陽光発電製造設備が遠方の他県で製作することになった。今後数年は福島県から輸出出来ない気がする。	地道に努力し震災前の状態に早く戻すこと。	原発問題の早期解決。また、風評被害を少しでも減らしてもらえよう国として、しっかりした対策立て、アナウンスして頂きたい。	原発の放射能モレを一日でも早く完全にストップし、収束させる事。

業種	ガラス精密加工	発泡プラスチック製品製造他	サービス業	酒類等卸売
被害についてお尋ねします	機械の一部損傷と家屋一部損壊及び受注減。	<ul style="list-style-type: none"> <li>須賀川工場 機械設備のずれや水周り配管の落下及びはずれ、水槽のひび割れ、建屋の一部損壊はあるが、被害は軽微。</li> <li>仙台営業所（関連企業の社屋を間借り）津波の被害を受けており、1階部分が浸水（事務所は2階）し、営業車両、従業員の車が流失。</li> <li>石巻出張所兼倉庫 津波により建物が損壊し、製品、トラック、従業員の車が流失。</li> <li>関連企業 仙台市宮城野区にある関連企業は、津波により社屋・工場・機械が被害を受けたが、現在、復旧作業を行っている。</li> </ul>	被災直後は4割の店舗で営業停止を余儀なくされ、津波等により3店舗がスクラップとなり、原発の避難区域にある2店舗は再開の目処が立ちません。また、郡山工場で製造ラインの被害により生産が一時停止しました。	商品及び本支店社屋が損傷しました。
被害の位でしょうか 金額はどのくらい	機械の修理、部品の交換、天井、壁の損傷の修繕の費用。		地震による被害総額。津波や原発、風評被害における算定は難しいので総額としてあります。	商品と社屋（5カ所）。
復旧状況と稼働状況はどの位でしょうか	取引先が部品不足による製造減に伴い、受注が減産となる。	<p>復旧状況 須賀川工場の稼働に必要なものは、復旧している。</p> <p>稼働状況 震災発生後、10日間で須賀川工場は、機械、ボイラー、LNG施設、水槽等の修理・点検を行い3月20日(日)より操業を再開している。</p> <p>営業所、出張所、関連会社については、仮事務所等を設置して早期復旧に取り組んでいる。</p>	現在の営業停止店舗は一桁台にまで復旧しており、工場も全ラインが稼働しております。	社内の機能はほぼ回復しましたが、いわき支店・相馬支店は50%程度の稼働です。また、主要商品であるビール等がメーカーの工場の被災のため満足に入荷しません。
大震災を受けて、現状「貴社で実施予定の方策や施策」についてお尋ねします	再度の地震が起こった場合の放射性物質飛散地域拡大の場合の海外生産に移行する体制作りをする。	被災した社員への支援実施。（支援物資の配送、生活支援、義捐金など）関連企業への人的、物的支援等。	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時の通信手段を確保するために、衛星電話やスマートフォンを利用した連絡方法の導入を図る。</li> <li>風評被害対策、野菜等の安全確保を図るために放射能測定機の導入し、食の安全と安心を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品の確保が喫緊の課題。</li> <li>被災者・避難者に係る債権の保全。</li> </ul>
大震災の直後に困ったことは何だったんですか	原発の放射線の風評に依り機械修理会社や運送会社が福島に来る事について難色を示したこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>通信網が断たれ、各営業所、関連企業との連絡が取れず、被災状況の把握や安否確認が困難となったこと。</li> <li>ガソリンの入手が困難になり、車で移動に困難をきたした。</li> </ul>	電話などの通信手段が麻痺して外部との連絡が遮断されたことにより、従業員の安否や店舗などの被害状況がつかめず、情報収集に時間がかかったこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガソリンが無く、営業がマヒしたこと。</li> <li>原発情報が飛び交ったこと。</li> </ul>
今一番求められるのは何でしょうか	原発の早期解決で福島風評をなくす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>政治主導による復興案の策定と早期実施。</li> <li>原発事故の一日も早い収束のための東電・政府の的確な判断と迅速な行動。</li> </ul>	未だ解決の方向性が見えない原発問題を1日でも早く終息させ、県内及び東北経済の復興を実現させる。	原発に係る風評被害の抑止。地域全体の浮沈に関わると思います。

緊急アンケート調査 東日本大震災による福島県内の被害の状況

業種	道路貨物運送業	運送業(タクシー・観光バス)、旅行 介護	サービス業	倉庫業
被害についてお尋ねします	人的被害及び営業的被害が大きい。	地震直後物流（特に燃料）の混乱により車両運行ができなかった等の直接的被害に加え、原発事故終息予測のない中、今後の業績見通しがたたない。	浜通りにある自社の2工場が閉鎖、岩手県から福島県にかけての沿岸部の取引先が甚大な被害を受けている。また、内陸の旅館・ホテルとの取引も大幅に減少している。	
被害の位でしうか 金額はど	現段階では、はっきりした数字は不明です。	タクシー事業はもとより、観光バス・旅行事業はツアーキャンセル多発により売上は大幅減少、今後回復の目途なし。	資産の被害は修繕に取り掛かれないものもあり、現段階では被害額の把握はできない。売上と利益は取引先の状況次第で今後大幅に減少するものと予想される。	まだ金額を算定出来ない。
復旧状況と稼働状況はど	一部営業を除いてほぼ復旧しているが、今後どうなるかは不明です。	燃料不足は数日で回復し、現状では100%稼働の業務体制はとれている。しかし原発事故への不安は高まるばかりで、観光や行事の中止など日常行動に大きな制限が加わり、利用客は大幅減少、売上にならないと思われる。	工場の閉鎖、事務室の修繕（資材の不足等が要因）が大きな復旧の遅れである。工場機械の修繕はほぼ終了したが、取引先が被害を受けているため入荷が少なく稼働状況は悪い。	
大震災を受けて、現状「貴社で実施予定の方策や施策」についてお尋ねします	時間はかかると思うが、粘り強く頑張るしかないと思います。	運行減に対しては、勤務時間の見直し、更には自宅待機させざるを得ない。雇用調整助成金により対応するしかない。	緊急性のない設備投資の凍結、経費支出の大幅な削減について、できるものから対応している。	被害状況の把握と復旧計画。
大震災の直後困ったこと	燃料不足により車両を稼働できなかった。また、従業員の出勤にも影響がでた。	停電・電話不通により、電話受注が不可能となり、同時に燃料（LPG、ガソリン、軽油）の供給ストップにより車両運行ができなかったこと。	ライフラインの回復が遅れたこと、特に工場や車両の燃料の不足が約2週間解消されなかったことが大きい。	ライフラインの停止及び車輛の燃料確保。
今一番求められるのは何でしょうか	原発事故の一刻も早い収束を望みます。	地震津波被害に加え、原発事故による被害が福島においては測りしれない。一日も早い終息と安全宣言がまず福島経済復興の第一歩となる。同時に過度に自粛することなく、人や物の動きをつくりだしていただきたい。	原発事故の早期解決と損害補償の迅速な実行を求め	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難住民の生活基盤の安定。</li> <li>福島原発の収束。</li> <li>余震の収束。</li> <li>工業用水の復旧。</li> </ul>



業種	輸送用機械器具製造業	紙・パルプの生産、販売	電気設備工事	輸送用機器製造
被害についてお尋ねします	社員の人的被害及び工場設備の被害は無かった。但し、社員の通勤及び工場操業のための燃料が不足し、約1週間工場の操業が停止した。	震災による直接被害もさることながら、原燃料の調達難、道路、鉄道、ガス、電気、水道等、社会的インフラの復旧遅れが相当影響した。	社屋の一部損壊程度で大きなものはない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>社屋の破損。</li> <li>機械設備等の破損。</li> </ul>
被害の金額はどの位でしょうか		行政を含めた間違った情報、対応が氾濫したことにより、復旧作業が遅れたことによる被害拡大が影響している。	営業エリアが各々被害を受けており、被害額は未定状況にある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>外装LED破損・内装天井、壁亀裂。</li> <li>機械設備等破損。</li> </ul>
復旧状況と稼働状況はどの位でしょうか	稼働状況は工場の1週間の操業停止及び顧客先の受入停止により、3月計画に対して60%程度に落ち込んだ。4月以降は夏季の電力対策もあり、納入を前倒しすることで当初計画に対して4月：70%、5月：90%、6月100%に回復する見込み。	一旦は70%程度まで復旧したものの、二度にわたる強い余震の影響で再度壊滅状態となった。	会社家屋復旧については、業者側の資材不足、人員不足のため着工出来ていない。会社業務は100%稼働している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自動車メーカー生産停止、生産調整＝（稼働状況）。</li> <li>建屋補修用材料入荷待ち＝（復旧状況）。</li> </ul>
大震災を受けて、現状「貴社で実施予定の方策や施策」についてお尋ねします	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客先の操業状態が電力供給及び部品調達等の問題により急激には回復しない見込みのため、夏季電力対策も考慮し、7月～9月分の納入を4月～6月の納入に前倒しを行う。</li> <li>4月は納入量見合いでライン操業を検討し、余剰となる時間は一時帰休（雇用調整助成金）を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全社を挙げて災害復旧に臨む体制として、本社に災害対策本部を設けて経営資源を投入している。</li> <li>現地工場に於いても通常の組織管理から災害対策会議に管理を移行し、情報の総轄一元化、施策の優先順位や対応策の決定を行い、最短での復旧を目指している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大震災後の原発問題で大型案件の設備中止や公共工事の先行き不透明感があり会社としての施策がたたない。</li> <li>とりあえず災害復旧、ボランティア的な工事に全力をあげている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原発事故の万が一のリスク判断の為の行動シミュレーションの確認（社員とその家族）。</li> <li>避難物資の確保。</li> </ul>
大震災の直後に困ったことは何だったか	<ul style="list-style-type: none"> <li>燃料不足による社員の通勤対応。</li> <li>工場操業用燃料の確保及び製品輸送用トラックの確保。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政の発信力の乏しさ。</li> <li>統括能力の低さ。</li> <li>現状把握と近未来に関する説明能力の低さ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガソリン、水が止まり全く業務が出来ない状況があった。</li> <li>食料、物資も止まり、会社内で昼食を炊き出しするような状況にあった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライフラインの切断。</li> <li>水、燃料不足。</li> <li>東電事故。</li> </ul>
今一番求められるのは何でしょうか	<ul style="list-style-type: none"> <li>原発事故の早期収束。</li> <li>顧客先操業度の回復。</li> </ul>	従業員の生活確保と生産の再開。	<ul style="list-style-type: none"> <li>早急な復旧、復興が国から示されていない。</li> <li>資材関連の物量が不足しており復旧工事がなかなか進められない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原発事故早期収束</li> <li>各生産工場の早期復旧</li> </ul>

業種	食品製造	電気機械器具の製造・販売 (カーエレクトロニクス製品)	製造業	非鉄金属業
被害についてお尋ねします	<ul style="list-style-type: none"> <li>仙台営業所の半壊。</li> <li>福島県産への風評被害。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社屋建物の一部損壊及び設備の被災。</li> <li>サプライチェーンマネジメントの混乱による生産遅延。</li> </ul>	三工場のうち一つの工場の内壁の一部が崩落し、ガラスが割れたり、敷地内に亀裂が入るなどの被害があった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部設備の損傷。</li> <li>たな卸資産の被災。</li> </ul>
被害の位でしようか 金額はど	全般的に野菜ばなれが進んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物補修及び生産設備メンテナンス。</li> <li>生産遅延による逸失利益。</li> </ul>	上記の建物修理のほか、生産設備の移動による修理、電気工事に関わる費用など。	<ul style="list-style-type: none"> <li>設備の復旧、撤去。</li> <li>たな卸資産の処分。</li> </ul>
復旧状況と稼働状況はど	修理・補修の為の資材部材の入手困難と依頼が多い事から工事の順番待ちの状態である。原材料の入手がスムーズにっていない。		建物・設備の復旧よりも断水や灯油の調達不足により稼働開始が遅れたが、3月29日より、全ての工場の全ての生産が再開し、現在は一部の夜勤対応を行うなど震災前に稼働が戻っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産に影響のない固定資産については未だ復旧処置をしていない。</li> <li>販売の下振れによる生産量の減が見込まれる。</li> </ul>
大震災を受けて、現状「貴社で実施予定の方策や施策」についてお尋ねします	<ul style="list-style-type: none"> <li>原材料の仕入れルートの見直し。</li> <li>農産物の契約産地の変更。</li> </ul>	実効性の高いBCP（事業継続計画）の策定。	<ul style="list-style-type: none"> <li>BCPを含めたりスクマネジメントの見直し</li> <li>今後の受注状況の把握。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部耐震化補強の検討。</li> <li>省エネ、バックアップ電源の検討。</li> </ul>
大震災の直後困ったこと	エネルギーの入手困難（ガソリン、重油等）。	<ul style="list-style-type: none"> <li>断水とガソリン不足。</li> <li>原発事故の風評被害。</li> </ul>	ガソリン不足により従業員が通勤難となったこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>原材料調達先の被災。</li> <li>物流混乱による副資材調達難。</li> <li>ガソリン供給不足。</li> </ul>
今一番求められる	<ul style="list-style-type: none"> <li>原発の収束。</li> <li>農産物の信頼回復。</li> <li>観光産業の復活。</li> <li>原発名から福島をはずす。</li> </ul>	福島第1原発事故の1日も早い終息。	原発問題の終息。	夏場の電力使用。

業種	プラスチック金型及び射出成形	精密切削工具製造業	総合建設業	スーパーマーケット
被害についてお尋ねします	<ul style="list-style-type: none"> <li>工場、生産設備については被害無し。</li> <li>但しお客様から預かっていた金型を改造の為に協力工場に保管中、津波で流出した。</li> </ul>	<p>幸い社員に被害はなかったが、設備の一部に軽微な損壊と保管商品の破損。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自社の社屋と賃貸用建物に修繕費で数百万の補修を要する被害あり。</li> <li>公共工事の工事中止命令により工事遅延の影響が出ている。</li> </ul>	<p>中通り地区の店舗で損傷が多めで、最長で1か月休業の店舗あり。廃棄商品あり。</p>
被害の金額はどの位でしょうか	<p>前記のとおり、社内で再製作した費用+その分、社内の新規生産を出来なかった分を含めるとこの位の金額となっております。</p>	<p>地震による建物損壊と商品破損。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>金額に表せない影響あり。</li> <li>工事が遅れる事で今期の決算に入らない工事が出て、収益見込みが狂った事と早く完成しないと次の受注に影響が出てくる可能性高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>未だ不明。</li> <li>店舗修復→4月10日終了。</li> <li>廃棄商品の確定→4月末にて実棚卸にて確定。</li> </ul>
復旧状況と稼働状況はどの位でしょうか	<ul style="list-style-type: none"> <li>復旧状況は特に無い(工場、生産設備の被害がない為)。</li> <li>稼働状況は被害にあわれた客先からの緊急応援依頼も有り多忙である。</li> </ul>	<p>地震・停電により設備等の点検に時間を要したが、4月からは完全復旧し震災前の稼働に戻っている。</p>	<p>3月11日以降の公共工事は約1ヶ月間中断した。1ヶ月間生産性が上がらなかっただけでなく震災後の建設資材不足と値上がりの影響から、予想利益の減少は避けられない。</p>	<p>店舗の細部の修復が完全でない店舗あり。</p>
大震災を受けて、現状「貴社で実施予定の方策や施策」についてお尋ねします	<ul style="list-style-type: none"> <li>我社は被害が無かったものの、今後お客様の海外流出や関西方面に生産地が分散される可能性がある。</li> <li>今後はこれまで以上に復興に向けてのニーズを検討し営業攻勢を強化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の節電、使用電力量規制による生産体制検討(交替勤務の見直し)。</li> <li>緊急時対応の見直し。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会津は、直接大きな被害はなかったものの、今後の方策や施策を考える上では、原発の見通しが見つからないと具体策は示せない。</li> <li>今の所、地道に堅実に歩むしかなく、妙案もない。被災地の浜通り中心の支援でなく、避難地の会津にも支援がないと、風評被害の他今後の公共投資まで減る様であれば厳しくなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>震災前の状態への早期回復。</li> <li>特別な方策や施策はありません。</li> </ul>
大震災の直後にはどうだったのでしょうか	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様と1週間ほど連絡が取れなかった事。</li> <li>ガソリン不足。</li> <li>今も続いている原発事故の不安感。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガソリンの調達困難による社員の出社困難。</li> <li>川上産業の被災による資材の一部入荷遅れ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事用のガソリン、軽油不足にて重機及びトラック、ダンプが動けなかった事。</li> <li>社員のガソリン不足で通勤にも支障。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物流→商品の確保。</li> <li>ガソリン、軽油不足による物流の停滞。</li> <li>取引先の被災による品不足。</li> </ul>
今一番求められるのは何でしょうか	<ul style="list-style-type: none"> <li>震災を機に後生のために真の良い国とは何かを国民一体で真剣に考える事。</li> <li>大企業の占有主義が末端の中小企業を苦しめ人々の心を歪めている。国民同士豊かな心を持てる国造りを目指す機会になってもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災者の雇用を含む生活支援、被災企業の事業継続支援。</li> <li>原発早期収束と福島県1次産業への見直し。</li> <li>対策をとるための正確な判断材料(情報)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原発の処理に見通しが見つからない現状の中、風評被害から会津の観光と農作物の影響大きく、地元金が落ちないと更に不況となる。</li> <li>政府の財政支援と公共投資を災害地のみならず支援していく事が必要。</li> </ul>	<p>原発事故の終息と風評被害の早期解消。</p>

業種	ガス業	婦人服の製造販売	木材製品卸売業	清酒製造
被害についてお尋ねします	<ul style="list-style-type: none"> <li>営業所建屋の基礎部分が損壊。</li> <li>顧客に設置してある設備にも損壊しているケースがある。</li> </ul>		<p>3/11及び4/11・12の地震の影響で、工場並びに倉庫が一部損壊しました。また、所々地割れが散見されます。</p>	<p>会津若松市内の土蔵の壁、天井の崩落。貯蔵、熟成中の原酒1酒瓶で約600本の破損亡失。</p>
被害の金額はどの位でしょうか	<ul style="list-style-type: none"> <li>直接の被害は前記のとおり。</li> <li>間接被害として3月単月のガス出荷量減少。</li> <li>風評被害については客先に大きな影響がでており、その二次被害が懸念される。</li> </ul>	<p>今回のケースでは災害が複合して発生しているため、被害の区分(地震、津波、原発)は困難。</p>	<p>上記の被害箇所を追々修繕するとなると、この位の金額になるものと思われます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>震災、津波による卸店・小売店の倉庫、店頭の被害が大きく荷受不可能となり、売上減少。</li> <li>自粛ムード等による飲食業の低迷。</li> <li>貯蔵酒破損による亡失。</li> </ul>
復旧状況と稼働状況はどの位でしょうか	<p>当社の稼働は震災後数日で100%まで立て直した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>復旧状況：当初66店舗→現在29店舗。</li> <li>一旦クローズした店舗の再開状況稼働状況：当初の被災店舗数は66店舗。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産に関しては海外の協力工場にほぼ委託しており、現状問題はありません。</li> <li>営業等で出張する際に高速道路やJR等の交通網が100%回復しておらず、早期の復旧が待たれます。</li> </ul>	<p>貯蔵倉庫の被害はあったが、製造蔵の被害極小だったので、復旧が早くできた。</p>
大震災を受けて、現状「貴社で実施予定の方策や施策」についてお尋ねします	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客に対して可能な限り支援していく。</li> <li>また、震災及び原発災害を総合してみるとLPガスによるシリンダ供給の災害に対する強さが従来以上に明らかになったので、その点を顧客にアピールしていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災した店舗従業員の支援(義捐金、支援物資の配送、生活支援など)。</li> <li>全店舗をあげて、休業店舗の営業計数をカバー。</li> </ul>	<p>震災復興に向けて、仮設住宅をメインとした建築資材需要がある程度見込まれるので、スピーディーかつタイムリーな納品が出来る様、現地工場と緊密な連携を図る事です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>風評被害を未然に防ぐ為に、商品の安全性を公的機関で検証すると共に、発信していく。</li> <li>福島県内の復興支援の為に、県外への販売活動を強化する。</li> </ul>
大震災の直後に困ったことは何でしょうか	<p>ガソリンや軽油などの燃料の手配が大変だったこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通信網が断たれ、被災店舗の把握(安否確認を含め)が困難となったこと。</li> <li>原発事故に伴い被災店舗へアクセスできなくなったこと。</li> </ul>	<p>ガソリンや水が極端に不足した他、原発事故の状況が極めて不安定だった為、営業体制が整えられなかった事です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通信の断絶。</li> <li>燃料不足。</li> </ul>
今一番求められるのは何でしょうか	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の震災や原発災害の経験を風化させずに、経済活動や生活の教訓としていくこと。</li> <li>特にエネルギーに関しては特定のエネルギーに偏りすぎずにベストミックスを定着させて行くべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原発事故の一日も早い収束「政府の的確な判断と迅速な行動」。</li> <li>計画停電の回避⇒景気の回復。</li> </ul>	<p>原発事故の一刻も早い収束が望まれます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一日も早い原発事故の終息。</li> <li>自粛の防止。</li> <li>経済、消費活動の正常化。</li> <li>福島県内被災地の復興作業の開始。</li> </ul>